

クメール語

上田 広美

アンケートに従って、以下に言語データを示す。発話の状況によってさまざまな表現があり得るが、以下では代表的な表現のみ¹を挙げた。以下、本稿の表記は音韻表記で、坂本(1988)に従う。

- [1] soophaat mòok ruuu
 (人)² 来る (末)
 <ソパートが来たの?>
- mun mèen soophaat tèe kuuu sòmnaaj
 (否) (人) (末) (コ) (人)
 <ソパートじゃない。ソムナーンだ>

一般疑問文には疑問を表す文末詞のいずれかを付加する。疑問を表す文末詞は、/ruuu/と/tèe/の2種類があり、その連続/ruuu tèe/も用いられる。意外性を表す疑問文には/ruuu/が付加される。/tèe/は、聞き手の予想を裏切る内容の文に付加されやすく、否定文の文末に頻出する。

- [2] nèak naa mòok
 誰 来る
 <誰が来たの?>
- soophaat mòok
 (人) 来る
 <ソパートが来た>

疑問詞疑問文は文末詞を必要としない。

¹ クメール語データは、バン・ソバタナ氏にご提供いただいた。ご協力に深く感謝する。

² 逐語訳に以下の略号を用いる。(完)完了を表す、(関)名詞修飾節の始まりを表す、(コ)コピュラ、(末)文末詞、(否)否定詞、(人)人名。

[3] soophaat kpòh cèəŋ ruuu
 (人) 高い より (末)
 <ソパートの方が背が高いの？>
 muun mèen tèe sòmnaaŋ kpòh cèəŋ
 (否) (末) (人) 高い より
 <いいえ、ソムナーンの方が背が高い>

[4] kaət ʔəj nuŋ
 生じる 何 それ
 <どうしたの？>
 mèən pniəv mòək
 ある 客 来る
 <お客さんが来た>

口語では、疑問詞疑問文の文末に指示詞/nuŋ/が付加されることが多い。

[5] vèə vèəj soophaat
 彼 叩く (人)
 <あの子がソパートを叩いたの！？>
 vèə muun mèen vèəj soophaat tèe
 彼 (否) 叩く (人) (末)
 <あの子はソパートを叩いたんじゃない>
 vèə vèəj sòmnaaŋ
 彼 叩く (人)
 <あの子はソムナーンを叩いたんだ>

日本語の「その人」、「あの子」などは3人称代名詞で表される。一般に、人を表す名詞を指示詞で修飾すると非礼であると考えられる。3人称代名詞は、/kaət/と/vèə/があり、大人には男女を問わず/kaət/を、子どもや動物や物には/vèə/を用いる。

[6] mèən thəŋ krəəhəəm nuŋ thəŋ khiəv
 ある 袋 赤い と 袋 青い
 <赤い袋と青い袋がある>

jòk muoj naa
 取る 1 どれ
 <どっちを買う？>

knom jòk ʔaa khiəv
 私 取る の 青い
 <私は青いのを買う>

形容詞や指示詞や数詞に修飾される名詞の代用として/ʔaa/を用いることができる。ただし、所有関係を表す場合には用いることができない。

- [7] soophaat tən naa
 (人) 行く どれ
 <ソパートはどこに行った？>
 ʔot dəŋ vèə tən naa bat taŋ pii pròolum
 (否) 知る 彼 行く どれ 消える から 早朝
 <あの子は早朝からどこかに行った>

- [8] vèə vèj nèək naa nuŋ
 彼 叩く 誰 それ
 <あの子は誰を叩いたの？>
 vèə vèj pʔoon proh vèə
 彼 叩く 弟 彼
 <あの子は自分の弟を叩いた>

- [9] kaət ʔəj nuŋ
 生じる 何 それ
 <どうしたの？>
 soophaat vèj pʔoon proh vèə
 (人) 叩く 弟 彼
 <ソパートが弟を叩いた>

- [10] nòm baaraŋ bat tən naa ʔoh haəj
 ケーキ 消える 行く どれ 尽きる (完)
 <ケーキ, どうした？>

soophaat nam ʔəh haəj
 (人) 食べる 尽きる (完)
 <ソパートが食べてしまった>

- [11] ʔaa muoj dael kɲom tɛŋ pii haan pii msəl məŋ
 の 1 (関) 私 買う から 店 昨日
 kuuu siəvphəv nih
 (コ) 本 これ
 <私が昨日お店から買って来たのはこの本だ>

名詞文には、/kuuu/と/cəə/とその連続の/kuuu cəə/が現れ得る。/kuuu/は「即ち」と言い換える場合に用いられ、前後の名詞を入れ替えることができる。口語では、コンピュータの位置にいずれの語も現れないことが多い。

- [12] kəət cəə kruu bəŋriən
 彼 (コ) 先生
 <彼は先生だ>
 kəət tvəə kaa nəv saalaa nih bəj cnam haəj
 彼 働く で 学校 これ 3 年 (完)
 <彼はこの学校でもう3年働いている>

名詞文の/cəə/は属性を表し、前後の名詞を入れ替えることができない。代名詞や指示詞は常に主語となる。

- [13] ʔəvpòk kəət kuuu cəə ʔom mnèək nuh
 父 彼 (コ) 伯父 一人 それ
 <彼のお父さんは、あの人だ>

- [14] ʔom mnèək nuh kuuu cəə ʔəvpòk kəət
 伯父 一人 それ (コ) 父 彼
 <あの方が彼のお父さんだ>

- [15] khaan sʔæk kuuu cəə tɲaj bəntəp pii sʔæk
 あさって (コ) 日 次 から 明日
 <あさっては、あしたの次の日のことだ>

- [16] kɲom jòək kaafee
私 取る コーヒー
<私はコーヒーだ>
- [17] kɲom nèək hav kaafee
私 人 呼ぶ コーヒー
<私がコーヒーを頼んだ者だ>
- [18] siəvphəv krah tməj nuh tlaj
本 厚い 新しい それ 高い
<その新しくて厚い本は高価だ>

形容詞「厚い」と「新しい」は入れ替えることができる。名詞修飾節に指示詞が含まれる場合には、指示詞は常に節末に位置する。

- [19] ʔəh skəw rəoliŋ
尽きる 砂糖 全く
<砂糖が無くなっている>
- [20] kɲom mən nat cuop cəə muoj nèək naa muoj
私 ある 約束する 会う と 誰 1
<誰かに会うはずだった>
nèək naa nuŋ
誰 それ
<誰だったっけ>
ʔoo nuək khəəŋ haəj cəə muoj soophaat
ああ 想う 見える (完) と (人)
<ああ、思い出した。ソパートだった>

参考文献

坂本恭章. 1988. 「クメール語」, 『言語学大辞典第1巻世界言語編(上)』, pp. 1479-1505 三省堂.

